

H.28
(2016年)

十月（今月の掲示板）

真宗大谷派・願成寺

先祖の血（遺伝子）、みんな集めて子は生まれ

親、祖父・祖母・…と何十億人の先祖が居られて、私が生まれたのです。そして、例えば、A氏は妻から見ると夫・子からは父、会社では課長・社長から、従業員、買い物をすると客など、様々な関係の中で私達が存在します。この世の全てのものが『持ちつ持たれつ』の関係にあり、私と他人は切り離せません。こんな関係性を『因縁生起』と言い、縁起は、お釈迦様（仏教のみ）の重要な思想です。縁起が解ると、自己中心の心が無くなり、全生物と共に存・共栄する心が生まれます。煩惱を無くし・覚る（縁起）=眞実を得する）のが仏教の目的です。親鸞聖人は『煩惱具足の凡夫（欲深い悪人）の私』と受け止められました。どんなに頑張っても、自力では覚れない私に「悪人と目覚め・覺りたいと思ひ念佛すれば必ず救う』との仏様の本願を信じ、念佛申そうと思う心が起きた時、救われるのが真宗です。

主な参考資料

(1)白取春彦(著)『仏教「超」入門』(すばる舎、P.66~75)(2004年)。

(2)小池秀章(著)『高校生からの仏教入門(釈尊から親鸞聖人へ)』、本願寺出版社、P.76~201(2009年)。

(3)古田和弘(著)『仏教入門―天親菩薩(1)』月刊・同朋―2016年9月号、P.25~27(東本願寺出版部)。